

土砂災害に備えて

土砂災害や水害は大雨などに伴って発生しますが、いつどこで起きるかを正確に予測することは困難です。私たちは、災害が発生しそうなときや災害が発生してしまったときに被害を最小限に止めるよう、日常から災害を意識し、これに対する訓練を心がけておく必要があります。

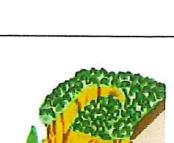
土砂災害ハザードマップ（防災地図）は、集中豪雨などによって「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」などが発生した場合に、危害がおよぶおそれがある範囲や、各地区の避難場所などを示した地図です。また、このような時には浸水被害なども生じる可能性があることから、これらの危険性のある箇所についても示しています。

集中豪雨などにより土砂災害などが発生するおそれがあるときには、テレビ・ラジオ等の最新情報に注意し、状況に応じて速やかに安全な場所へ避難してください。いざというときに備え、あなたの家の近くの安全な避難場所やそこまでの道順を確認しておきましょう。

なお、この地図に示した区域以外のところでも土砂災害は発生することがありますので、現地の状況には十分注意し、危険を感じたら近づかないようしてください。

平成23年4月 横浜町

■ 土砂災害の種類と前兆

土砂災害の3つのタイプ		こんな前ぶれには要注意！		
がけ崩れ	 <p>大雨によって土の抵抗力が弱まり、斜面が突然崩れ落ちる現象です。突然的に起こり、一瞬にして崩れ落ちるため、逃げ遅れる人も多く、大きな被害をもたらします。</p>	がけ崩れの前兆 <ul style="list-style-type: none"> ●がけからの水がにごる ●がけに亀裂が入る ●小石が落ちてくる ●がけから異様な音がする 	地すべりの前兆 <ul style="list-style-type: none"> ●地面にひび割れができる ●井戸や沢の水がにごる ●斜面から水がふき出す 	
土石流	 <p>谷や斜面に堆積した土砂が大雨によって水といっしょに一気に流れ出す現象です。流れが速く、破壊力も大きいため、莫大な被害をもたらします。</p>	土石流の前兆 <ul style="list-style-type: none"> ●雨が降り続いているのに川の水位が下がる ●山鳴りがする ●立ち木のさける音、石のぶつかりあう音が聞こえる ●川の水が急にごったり、流木が混ざる 		
地滑り	 <p>比較的ゆるやかな斜面で起こりやすく、地下水などの影響によって斜面全体がゆっくりと動き出す現象をいいます。場合によっては一気に滑り出すこともあります。</p>			

■横浜市における土砂災害などの発生状況

横浜町周辺では、過去に繰り返し風水害などに襲われています。

※横浜町地域防災計画(風水害等編)より抜粋

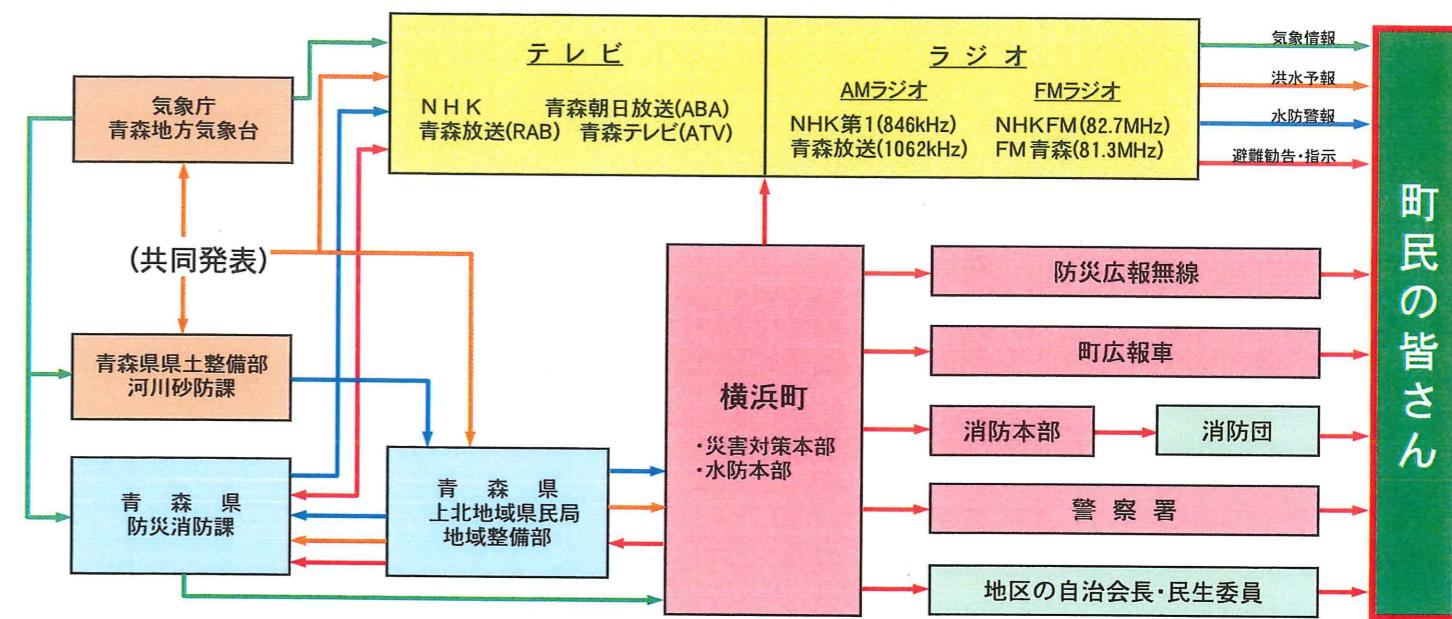
西暦	年月日	災害種別	災害状況
1932	昭和7年8月3日	水害	8月3日から5日までの3日間に局地的な大雨が降り、田90ha、大豆畑82ha、西瓜畑7ha、粟畑67haが冠水した。
1958	昭和33年9月27日	水害	伊勢湾台風により家屋床上浸水42戸、下浜橋流出、農地510ha冠水し、農作物に大きな被害を与えた。
1968	昭和43年8月20日	水害	豪雨により三保川と桧木川が氾濫し、農地253haの農作物が冠水するなどの被害を受けた。下浜橋、桧木橋が決壊流出した。
1973	昭和48年9月24日	水害	集中豪雨(370mm)により、建物の全壊流出12戸、床上浸水48戸、床下浸水80戸、国道279号線決壊、鉄道流出等の被害を受け激甚災害の適用となった。

お問い合わせ先

- 横浜町役場 総務課・建設水道課
■青森県 上北地域県民局 地域整備部
■青森県 県土整備部 河川砂防課

電話番号 0175-78-2111
電話番号 0176-22-8111
電話番号 017-722-1111

■気象情報や避難情報の伝わり方



いざというときに備えて、地区の連絡網などをもう一度確認しておきましょう。

非常持ち出し品チェックリスト

飲料水(ペットボトル)	雨具	万一、安全な場所へ避難できない場合でも、生命を守る最低限の行動として、近くで周囲の建物より比較的高い建物(鉄筋コンクリート等の堅固な建物)の2階以上に避難するようにしてください。このとき、斜面や溪流に対して反対側の部屋にいる方がより安全です。		
乾パン	ヘルメット			
缶詰	軍手			
粉ミルク	懐中電灯			
医薬品	ろうそく			
常備薬	マッチ			
貴重品	携帯ラジオ			
下着類	電池	施設名	所在地	電話番号
セーター	缶切	横浜小学校	林ノ後32-1	73-7337
タオル	ナイフ			

＜あなたの命を守るために＞

万一、安全な場所へ避難できない場合でも、生命を守る最低限の行動として、近くで周囲の建物より比較的高い建物(鉄筋コンクリート等の堅固な建物)の2階以上に避難するようしてください。このとき、斜面や渓流に対して反対側の部屋にいる方がより安全です。

この地区的指定避難所（寺下・旭町地区）

施設名	所在地	電話番号
横浜小学校	林ノ後32-1	73-7337
トレーニングセンター・洗心閣	三保野148-1	78-3693
横浜中学校	上イタヤノ木91-17	76-1610

災害の状況に応じて避難先が安全か十分に確認し直しごう

わが家の防災メモ

わが家の安全な避難場所					
指定定避難施設					
家族が離ればなれになったときの集合場所					
家族の連絡先	いざというときの連絡先				
氏名	電話	メモ	連絡先	電話	メモ
			横浜町役場	78-2111	
			火災・救急・救助	119	
			警察	110	